

豚用鎮静剤
マフロパン[®]1%注射液
MAFROPANE[®]



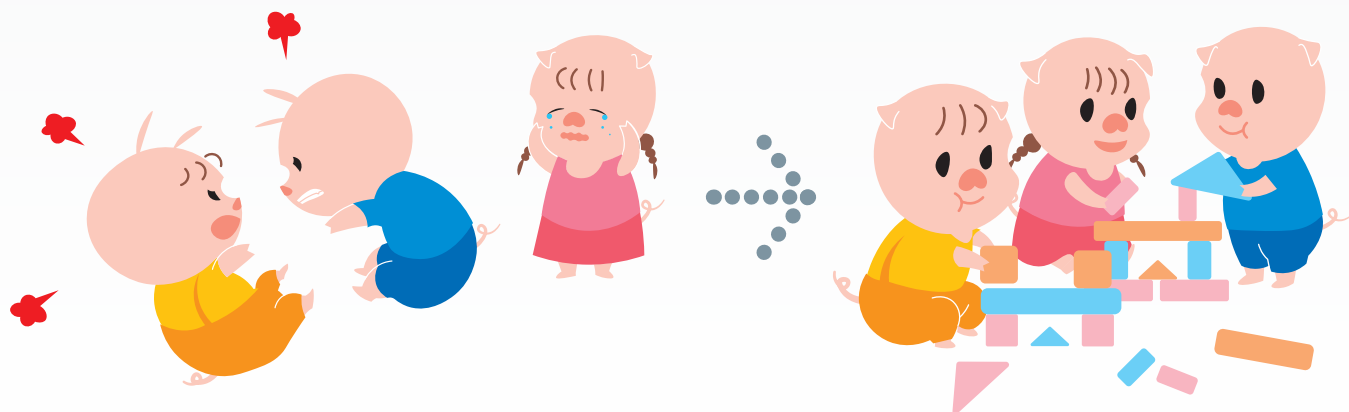
製品特長

- 速効的で、かつ強い闘争防止作用があります。
- カタレプシー（異常姿勢の保持）作用が弱く自発的歩行の抑制が少ないので、投与後の横臥が少なく、作業が容易になります。
- 投与後、速やかに代謝・排泄され体内残留が短い薬剤です。
- 注射部位の刺激が少ない薬剤です。
- すぐれたストレス緩和作用があります。

～豚とストレス～

豚は、おとなしく、人によくなつきますが、一面臆病な性質でストレスに敏感な動物です。群再編成時の闘争や移動、輸送などのストレスは生産性に悪影響をもたらします。

マフロパン1%注射液は中枢神経抑制作用を示し、興奮を抑え、豚を鎮静化させ闘争を抑えることで、豚のストレス防止に、ひいては養豚経営の一層の効率化に役立ちます。



母豚

- 子豚の圧死や受傷による疾病感染、発育の遅延防止
- 哺乳時間延長による子豚の増体重

肥育豚

- 群編成による闘争防止
- 受傷による疾病感染や発育の遅延、死亡の防止

～臨床試験～

闘争程度・回数および闘争による傷の数

試験群	薬剤投与後経過時間										傷の数
	30分	1時間	2時間	3時間	4時間						
マフロパン1%注射液0.05mL/kg (メシル酸マホブラジンとして0.5mg/kg)		●	●	○	○○						0*
マフロパン1%注射液0.03mL/kg (メシル酸マホブラジンとして0.3mg/kg)			●	●●	○○	×	×	○			3*
対照(生理食塩液)	●	●●	●●	●	○○	○				●●	139

●：噛み合い、○：押し合い、または×追っかけが発生した時点および回数を示した。

*対照群との間に有意差あり($p < 0.05$) (F検定)

【臨床試験】

平均体重32.2kgの子豚を5つの異なる豚房から1頭ずつ集め、薬剤を1回筋肉内に注射し、同居後の闘争の程度、回数および闘争時間を投与後4時間30分まで観察し、観察終了時に闘争による傷の数を調べた。

マフロパン1%注射液には対照群に比べ闘争防止効果が認められた。また、闘争回数、闘争時間および傷の数にマフロパン1%注射液0.05mL/kg投与群が最もすぐれた効果を示した。

～Drug Information～

【成分及び分量】

品名	マフロパン1%注射液
有効成分	メシル酸マホプラジン
含量	100mL 中 1000mg

【効能又は効果】

豚の鎮静 例えば移動、輸送、群再編成時などの闘争防止

【用法及び用量】

体重1kg当たり、本剤0.03～0.05mL（メシル酸マホプラジンとして0.3～0.5mg/kg）を1回筋肉内に注射する。

【使用上の注意】（抜粋）

（基本的事項）

1. 守らなければならないこと

（一般的注意）

- (1) 本剤は、効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- (2) 本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。
- (3) 本剤は、「使用基準」の定めるところにより使用すること。

注意：本剤は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、使用対象動物（豚）について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守して下さい。

豚：食用に供するためにと殺する前24時間

- (4) と場出荷時には本剤を使用しないこと。

（専門的事項）

1. 重要な基本的注意

- (1) 連続大量投与によりプロラクチンの放出が促進される可能性が考えられるので、用時1回投与とすること。

2. 副作用

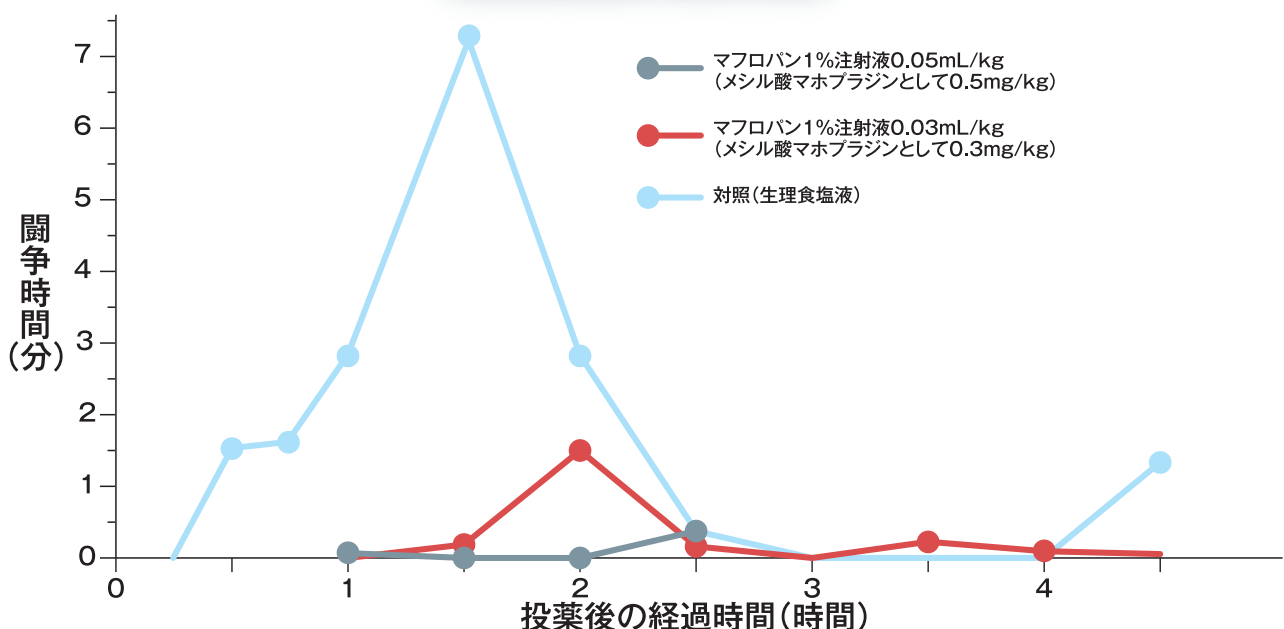
- (1) 本剤投与後、一過性の尾の振せん及び排糞回数の増加が見られ、また、一過性の呼吸促迫、挙動不安等の症状も見られることがある。

【包装】

マフロパン1%注射液 20mLバイアル

●詳細については添付文書を参照してください。

～臨床試験～ 薬剤投与後の闘争時間



～使用プログラム例～

母豚

落ち着きのない時に…

種付け時

分娩後

初産豚	130kg:3.9mL
経産豚	150kg:4.5mL

初産豚	113kg:3.4mL
経産豚	130kg:3.9mL

- 子豚の圧死や受傷による疾病感染、発育の遅延防止
- 哺乳時間延長による子豚の増体重

肥育豚

闘争の防止に…

離乳時/群編成時

群再編成時

離乳舎	7kg:0.2mL
-----	-----------

離乳舎	30kg:0.9mL
-----	------------

- 受傷による疾病感染や発育の遅延、死亡の防止

～投与量早見表～

体重(kg)	マフロパン1%注射液の1頭当たり必要量(mL)	
	0.03mL/kg投与の場合	0.05mL/kg投与の場合
10	0.3	0.5
20	0.6	1.0
30	0.9	1.5
40	1.2	2.0
50	1.5	2.5
60	1.8	3.0
80	2.4	4.0
100	3.0	5.0
200	6.0	10.0

製造販売元

物産アニマルヘルス株式会社

〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町2-5-7